

様式第 2 号の 1－② 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	アイ エステティック専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	インナービューティ科 エステティシャン専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
衛生専門課程	インナービューティ科 アロマ&セラピスト専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
衛生専門課程	インナービューティ科 メイクアップアーティスト専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
衛生専門課程	インナービューティ科 ブライダルビューティ専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
衛生専門課程	インナービューティ科 ネイリスト専攻	夜・通信	180 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://aie-jhm.jp/aie-information/>

学校ホームページ→情報公開→教育→実務経験のある教員等による授業科目一覧
《省令で定める単位数等の基準相当分》

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アイ エステティック専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://aie-jhm.jp/aie-information/>
 学校ホームページ→情報公開→中村学園について→2-4. 学園理事・役員

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社FMG 代表取締役 社長	2022年5月31日～ 2025年5月30日	学識経験による
非常勤	古谷乳業株式会社 代表取締役 社長	2022年5月31日～ 2025年5月30日	学識経験による
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アイ エステティック専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ●シラバスを作成…授業方法や内容、授業概要、到達目標を記載。 ●成績評価基準…成績評価の方法と基準を記載。 ●教育課程編成委員会の設置…年 2 回実施し、企業委員より業界のニーズを伺いながらカリキュラムや授業内容、授業改善アンケート等を討議している。 ●講師会議の実施…年 2 回の講師会議を実施し、授業方針・内容の意見交換等を実施している。	
授業計画書の公表方法	https://aie-jhm.jp/aie-information/ 学校ホームページ→情報公開→教育→シラバス
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ●定期試験…原則として各学期の授業最終週までに実施。答案返却や解説等のフィードバックを実施。 ●成績評価…成績評価の方法と基準を記載。 各学年・学期にて定期試験結果や課題（レポート）内容の評価、出席率・平常点（授業意欲・提出物・忘れ物）により評価し、総合的に判定し単位を付与する。評価は原則 4 段階評価を行う。 A＝優、B＝良、C＝可、D＝不可 A～C「認定」、D「不認定」とする。 ただし、4 段階評価が困難な場合は、R＝認定とすることも可とする ホームルーム等で学生へ周知する。 ●年 2 回授業改善アンケートをすべての科目において実施し、授業担当教員へ共有し、意見交換会や改善に取り組んでいる。 ●各専攻において検定を実施している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ●成績評価…成績評価の方法と基準を記載。 各学年・学期にて定期試験結果や課題（レポート）内容の評価、出席率・平常点（授業意欲・提出物・忘れ物）により評価し、総合的に判定し単位を付与する。 評価は原則4段階評価を行う。 A＝優、B＝良、C＝可、D＝不可 A～C「認定」、D「不認定」とする。 ただし、4段階評価が困難な場合は、R＝認定とすることも可とする ●成績の客観的指標の算出…各学期において学年・専攻ごとに算出する。 【点数基準】すべて100点満点/合計300点 ・定期試験または作品か課題提出 ・出席率の点数化 ・授業態度の点数化 【評価基準】 A＝優：点数300～250点まで／B＝良：点数249～200点まで／C＝可：点数199～150点まで／D＝不可：点数149点以下または評価基準を1つでも満たさなかった場合	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://aie-jhm.jp/aie-information/ 学校ホームページ→情報公開→教育→6-3. 進級・卒業の要件（成績評価方法含む）
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ●規定するすべての課目を履修した学生を卒業とする。 また進級については1年次すべての課目を履修すること。 当校の定める成績を満たしていると判断できるものに卒業の認定を授与する。 また、年2回の定期試験を実施するとともに進級時、卒業時に校長、教務室長などによる判定会議において決定する。 ●指定した期日までに学費が納入されていること。 ●進級・卒業は校長・副校長・教務室長が参加する判定会議を実施し決定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://aie-jhm.jp/aie-information/ 学校ホームページ→情報公開→教育→6-3. 進級・卒業の要件（成績評価方法含む）

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アイ エステティック専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://aie-jhm.jp/aie-information/ (学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況)
収支計算書又は損益計算書	https://aie-jhm.jp/aie-information/ (学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況)
財産目録	https://aie-jhm.jp/aie-information/ (学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況)
事業報告書	https://aie-jhm.jp/aie-information/ (学校ホームページ→情報公開) ※報告書の書式ではなく、情報公開内容全般を事業報告とする。
監事による監査報告（書）	https://aie-jhm.jp/aie-information/ (学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	インナービューティ科 エステティシャン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 時間	720 時間	990 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1710 時間				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	インナービューティ科 アロマ&セラピスト専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 時間	480 時間	1230 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1710 時間				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	インナービューティ科 メイクアップアーティスト専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 時間	465 時間	1245 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1710 時間				

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		衛生専門課程	インナービューティ科 ブライダルビューティ専攻	○			
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1710 時間	450 時間	1260 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1710 時間				
分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生分野		衛生専門課程	インナービューティ科 ネイリスト専攻		○		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1710 時間	300 時間	1410 時間	0 時間	0 時間	0 時間
			1710 時間				
生徒総定 員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		135 人	0 人	11 人	38 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ●シラバスを作成…授業方法や内容、授業概要、到達目標を記載。 ●成績評価基準…成績評価の方法と基準を記載。 ●教育課程編成委員会の設置…年 2 回実施し、企業委員より業界のニーズを伺いながらカリキュラムや授業内容、授業改善アンケート等を討議している。 ●講師会議の実施…年 2 回の講師会議を実施し、授業方針・内容の意見交換等を実施している。
成績評価の基準・方法
（概要） ●成績評価…成績評価の方法と基準を記載。 各学年・学期にて定期試験結果や課題（レポート）内容の評価、出席率・平常点（授業意欲・提出物・忘れ物）により評価し、総合的に判定し単位を付与する。 評価は原則 4 段階評価を行う。 A＝優、B＝良、C＝可、D＝不可 A～C「認定」、D「不認定」とする。 ただし、4 段階評価が困難な場合は、R＝認定とすることも可とする ●成績の客観的指標の算出…各学期において学年・コースごとに算出する。 【点数基準】すべて 100 点満点/合計 300 点 ・定期試験または作品か課題提出 ・出席率の点数化 ・授業態度の点数化 【評価基準】 A＝優：点数 300～250 点まで／B＝良：点数 249～200 点まで／C＝可：点数 199～150 点まで／D＝不可：点数 149 点以下または評価基準を 1 つでも満たさなかった場合

卒業・進級の認定基準
（概要） ●規定するすべての課目を履修した学生を卒業とする。 また進級については1年次すべての課目を履修すること。 当校の定める成績を満たしていると判断できるものに卒業の認定を授与する。 また、年2回の定期試験を実施するとともに進級時、卒業時に校長、教務室長などによる判定会議において決定する。 ●指定した期日までに学費が納入されていること。 ●進級・卒業は校長・副校長・教務室長が参加する判定会議を実施し決定する
学修支援等
（概要） ●各学期でクラス担任による面談を実施。その他随時必要に応じて個人面談や保護者面談を実施。 ●学生状況は全職員へ学生個人情報システムや会議内で共有され、職員一同で連携し対応する。また出席状況などデイリーで配信し、早期で長期欠席者への面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
78 人 (100%)	4 人 (5%)	68 人 (87%)	6 人 (8%)
（主な就職、業界等） TBC グループ株式会社・株式会社ソシエ・ワールド・株式会社不二ビューティ シャネル株式会社・株式会社ジョイフルまるやま等			
（就職指導内容） 専任の就職担当やクラス担任により個人面談を実施。各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定までをアドバイスする。			
（主な学修成果（資格・検定等）） AEA 認定エステティシャン、アロマコーディネーターライセンス、 メイクアップ技能検定、ネイリスト技能検定、3級ブライダルコーディネーター技能士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	11 人	7.0%
（中途退学の主な理由） 経済的理由・進路変更・家庭事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況等の更新をつねに最新とし、長期欠席者への学生面談等実施、早期解決に向けた取り組みを行う。全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。また保護者面談等も行い、家庭への報告も早期で対応する。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
インナービューティ科 エステティシャン専攻	150,000 円	770,000 円 (1 年次)	743,000 円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000 円 諸費用 210,000 円 行事費 38,000 円 教科書・教材等 255,000 円
インナービューティ科 アロマ&セラピスト専攻	150,000 円	770,000 円 (1 年次)	723,000 円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000 円 諸費用 210,000 円 行事費 38,000 円 教科書・教材等 235,000 円
インナービューティ科 メイクアップアーティスト専攻	150,000 円	770,000 円 (1 年次)	788,000 円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000 円 諸費用 210,000 円 行事費 38,000 円 教科書・教材等 300,000 円
インナービューティ科 ブライダルビューティ専攻	150,000 円	770,000 円 (1 年次)	788,000 円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000 円 諸費用 210,000 円 行事費 38,000 円 教科書・教材等 300,000 円
インナービューティ科 ネイリスト専攻	150,000 円	770,000 円 (1 年次)	788,000 円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000 円 諸費用 210,000 円 行事費 38,000 円 教科書・教材等 300,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aie-jhm.jp/aie-information/ (学校ホームページ→情報公開→自己点検・評価表) ただし、当校では毎年 8 月上旬に自己評価を実施、8 月下旬に学校関係者評価委員会を実施することとしており、学校評価の対象年度は前年度となる。現在公開中の自己評価結果及び学校関係者評価は 2024 年度評価となる。2025 年度評価については、自己評価結果は 8 月下旬頃、学校関係者評価は 9 月上旬頃完成予定。
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う。 <学校関係者評価の基本方針> ●教育課程編成委員会を年 2 回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。

- 年2回講師会議において企業からの派遣講師（非常勤講師）を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- 生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- 「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
株式会社 ボディワークアカデミー	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員
千葉経済大学附属高等学校	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	高校関係
株式会社スリムビューティハウス	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
<https://aie-jhm.jp/aie-information/>
 （学校ホームページ→情報公開→学校関係者評価報告書）

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
<https://aie-jhm.jp/aie-information/>
 （学校ホームページ「情報公開」）

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H112310000289
学校名（〇〇大学 等）	アイ エステティック専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 中村学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		27人（ 0 ）人	27人（ 0 ）人	27人（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	14人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				0人（ 0 ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。